



医療法人社団萌気会  
在宅療養支援診療所(二日町)  
在宅療養支援有床診療所(浦佐)

# もえぎ

# 7

Vol. 398  
2025/7.15

7月4日祖父母七夕お楽しみ会  
撮影地: 浦佐認定こども園  
撮影者: こども園職員

今、こども達がこども園で楽しんでいるわらべ歌やダンス、  
それぞれがチャレンジしていることなどを  
おじいちゃんおばあちゃんに見ていただきました

## INDEX

- 2 ■ 田邊先生/事務局 島村事務局長
- 3 ■ 萌気会会長 黒岩卓夫の病状報告
- 4 ■ すみれ草苗植え/父の日行事
- 5 ■ やまと健康フェスタエクササイズ/七夕行事
- 6 ■ みんなの食堂
- 7 ■ もえぎ夏祭り
- 8 ■ 利用者紹介/ふみ/編集後記

※連載「老いと死について」は都合によりお休みします

願いが届くように7/8に「たなばたさま」の歌で  
七夕送りを行いました



# 『思う』

## 『考える』

先日ある本を読んでいてタイトルのことを考えさせられましたので少し共有してみました。

「思う」と「考える」ことを日々の生活の中であまり考えることはないと思います。

思うことは、直感的で感情的な側面が強く、例えば、「あの服、かわいいな」と感じる時、そこには論理的な思考はあまり介在しません。これはひらめきや好意、あるいは漠然とした感情に近いもので、意識せずとも自然に心に浮かんでくるものです。多くの場合、言葉が必要とせず、ただ「そう感じる」という状態を指します。

一方、考えることは、より意識的で論理的なプロセスを伴います。「なぜあの服がかわいいと感じるのだろうか?」「どんな時に着るのが良いだろう?」といった問いを立て、情報に基づいていたり、比較検討したりする作業です。問題解決のために

複数の選択肢を評価し、何かしらのその時点での答えを導きだす工程になります。

つまり、私たちは、思いが生じた時に言語を介して論理的なプロセスを踏む、すなわち考えることによって何かしらの答えを導き出しています。

自身や大切な方が病気になる時、何かしら思いが生じる人が多いと思います。ぜひ病院や診療所を受診した時などは、言葉にして話してみてください。そうすることにより、思うことから考えるという変換が行われ、何かしらの答えを導き出すステップを踏むことができます。のではないかと考えます。



# 萌気会がずっと続いていく

## ように後方で働いています

「地域の皆さまに必要とされる医療介護を提供し続ける。」その実現のため、萌気会の大事な財産であるヒト(職員)・モノ(設備)・カネ(資金)の最適な運用を考えることが私たち事務局職員の仕事です。事務局長、総務担当、介護(人事)担当、財務担当、経理担当の5人がいます。

- ①労働条件や施設設備など働く環境を整える
- ②最前線で働く職員が笑顔で仕事に専念できる
- ③患者さん利用者さんに気持ちよく利用し続けてもらう
- ④売り上げが良くなり資金が増え経営が安定する

また①もっと環境整備ができる。このサイクルがうまく回るように後ろの前線で萌気会の未来を考えながら今やらないといけないことをやっています。

新型コロナ以降の患者さん利用者さんの動向の変化や昨今の人手不足、物価上昇などのため判断が難しい場面が多くあります。職員の満足と充足、施設設備の修繕、各事業所の収支安定、関係法令の遵守などの課題と向き合う日々です。

どうか皆さま、萌気会が萌気会らしくずっと続いていくように後ろのほうで働く職員がいることも忘れなく、応援よろしくお願いいたします。



6月8日、南魚沼グルメマラソン出場

# 萌気会会長

## 黒岩卓夫の病状報告

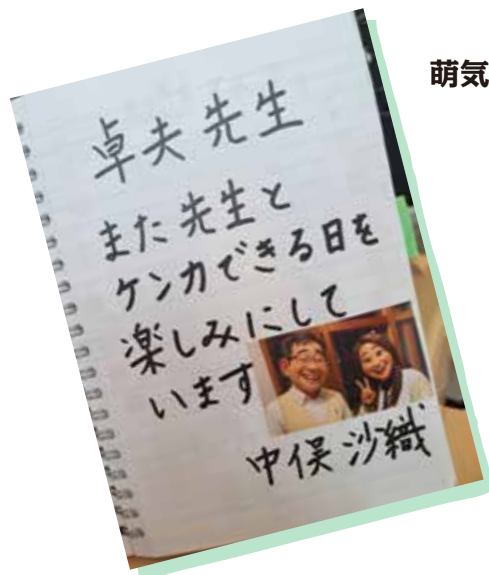
父が5月下旬に脳梗塞を発症し魚沼基幹病院に入院となりました。右片麻痺により自力歩行が難しく、運動性失語症により言葉の理解はできませんが話すことができない状態です。嚥下機能はほぼ問題ないので食事摂取は可能です。魚沼基幹病院での1か月間のリハビリで徐々に機能は回復しています。更なるリハビリ目的に7月1日に南魚沼市民病院へ転院となりました。今後は、3か月程の入院で集中的にリハビリを行う予定です。意欲的にリハビリに臨んでおり更なる機能回復が期待されます。

父と活動を共にしていた方々、父の外来診療を受けていた方々には大変ご心配をおかけしました。今後、今まで通りに現場へ復帰することは難しいですが、近い将来何らかの形で父からのメッセージを皆様にお届けできると思っておりますので、もうしばらくお待ちいただけると幸いです。



千羽鶴は  
萌気園浦佐診療所スタッフからです

### 萌気会スタッフからの心温まるメッセージ



# 苗植え

萌気園老人ホーム「すみれ草」 ● ● ● ● ●

5月の末に入居者さんからのリクエストで、きゅうり、ナス、トマト、オクラなどの苗植えを行いました。皆さん収穫を大変楽しみにされています。



# 父の日行事

コム・ソフィ ● ● ● ● ●



男性の利用者さんに、ご本人やご家族との写真を撮影してお渡ししました

● ● ● ● ● さくりの郷



職員による中国ごま(ディアスロ)の技の数々を披露

職員の手作りピザを召し上がっていただきました

# やまと健康フェスタエクササイズ

萌気園小規模多機能ホーム さくりの郷 ●●●●●

6/22に、やまと健康フェスタエクササイズに出かけてきました。

体験したプログラムは、シニアヨガができるかな?という不安をもちながらも、講師の久保田祥子さんのわかりやすい説明で利用者さんも職員も身体を動かし、身体が軽くなった気がします。



## 七夕行事

萌気園グループホーム「ふきのとう」



二日町栄養調理室  
七夕特別メニュー



萌気園二日町診療所「曼陀羅華」



小規模多機能居宅介護「コム・ソフィ」



小規模多機能居宅介護「たもんの郷」



楽器を演奏しながら  
きらきら星を歌いました



# みんなの食堂

【みんなの食堂】は目に見える活動として、子供たちに食事を提供していますが、その延長線では、多世代交流の拠点としての居場所づくり、孤食、あるいは経済的困窮、家事のワンオペの緩和など社会の課題解決を図ることも目的としています。

7月6日(日)さくり温泉健康館にて【みんなの食堂】を開催いたしました。  
二日町地区より五十沢地区へと開催場所を変更した初めての試みでしたが近隣の方々、さくり温泉健康館のお客様、小さなお子様からご高齢者様まで多くの方々からご予約を含め、【七夕にちなんだカレーとゼリー】を150食提供することが出来ました。

当日は天候に恵まれ、子供たちは大粒の汗をかきながらバルーンアートや七夕飾り、スタンプラリーを楽しんでいました。スタンプラリーでは、子供たちとスタッフ・学生ボランティアとの交流が印象的で、恥ずかしがりながらも大人に声をかける子供たち、その姿を近くで見守る親御さん、優しく微笑みかけ対応する大人たちの姿に多世代交流の場を作り出していることに実感をもてました。

さくり温泉健康館の館内でも、いつもの日曜日とは違い子供たちの元気な声で溢れ、普段とは違った賑わいを見せていました。

また五十沢地区で新たに【五十沢地域食堂】を始められる吉田様、大津様も地域の子供たちを沢山連れて遊びに来ていただき、活動等の情報交換をさせていただきました。同じ志を持つ者同士、協力・連携しながら地域を盛り上げていきたいと思えます。

最後に開催場所を提供していただいた【さくり温泉健康館】様、活動に共感・共同してくださるkitasatogakuinボランティア部の皆様、市民のボランティアの皆様に感謝し、【みんなの食堂】を今後も継続できるよう精進してまいります。

次回の【みんなの食堂】開催は9月【さくり温泉健康館】に予定しています。



# みんなの食堂

令和7年8月3日(日)11:00~13:00

浦佐診療所駐車場にて開催

特製カレーライス 300円

限定 100食





**大抽選会**  
★12:40開始★

もえぎ

夏祭り



今年も猛暑が予想されるため、  
診療所待合スペースとリハビリセンターを無料休憩所として解放致します。

**令和7年8月3日（日）11:00～13:00**  
**浦佐診療所駐車場にて開催**

〒949-7302 南魚沼市浦佐5363-1

## うちの利用者さん

## 小規模多機能型居宅介護 コム・ソフイ

小千谷の片貝で育ち、現在は南魚沼市にお住いのケイさんです！

○コム・ソフイを利用された感想はいかがですか？

「ここはまず眺めが良いから気に入ってるよ。人が大勢いて良い、家に一人でいても仕方ないからね。」

○得意な事は？

「手先が器用な方だから、細かい作業も嫌いじゃない。昔、ちぎり絵を人に教えていたんだよ！家に沢山作品があるよ。」

と仰るように、送迎の際にご自宅に飾ってある作品を見せていただいた事があります。どの作品も凄くお上手で、初めて見せていただいた時は大変驚きました。

やさしい笑顔と、柔らかい人当たりが印象的なケイさん。これから丁寧な手作業の方法や素敵な作品の作り方について色々と教えてくださいますね！



井口 ケイ 様

## ふみ

## 萌気園グループホーム ふきのとう



ふきのとう入居者 佐藤 良子様  
姪 高橋 カズ子様

同じ市内に住んでいながら叔母に会うのは年に一〜二回位しか有りませんでした。叔父さんが病気で早く亡くなってから、一人子育てと仕事に頑張ってきた叔母です。看護師の仕事をしていたので夜勤もあり、いとも小さい頃は淋しい思いもしたと思います。叔母に会うと孫の話をして、「福祉の学校へ行って、私がばあちゃんを見るからね、と言ってくれるんだよ。」と目を細めるのです。

「ふきのとう」さんにお世話になって、正直な所安心致しました。有難うございます。月に何度か、会いに行けば良いのですが、中々それが出来ず心苦しく思っています。施設で働いていられる方々からも、良くして頂いて本当に感謝の思いでいっぱいです。これからも、宜しく願います。

## 編集後記

## 通所リハビリセンター 浦佐 今井 絵美

暑さが本格的になり、いよいよ夏本番を迎えます。皆様いかがお過ごしでしょうか。

7月は七夕、お祭り、花火大会、夏休みとイベントがたくさんですね。これらの行事は夏の盛り上がりを感じさせ、多くの人が参加や鑑賞を楽しみにしているのではないのでしょうか。

私の娘も、お祭りに浴衣を着て行きたいと毎日スマホをみながら「これがかわいい、こっちにしようかな」と楽しみにしている一人です。

萌気会でも、もえぎ夏祭りが8/3(日)に開催されます。3回目の浦佐開催です。今年は私の勤めているリハビリセンターが休憩所として開放されます。この機会にぜひ見学してみてください。今、後ろの前線でもえぎ夏祭りを成功させるため働いている職員がたくさんいます。ぜひ遊びに来て下さい。

暑さが続きますので水分補給をこまめに行い、くれぐれも無理をせずお気をつけてお過ごし下さい。